

事業実施報告書

法人名	特定非営利活動法人くまがやおもちゃ病院
活動名	「こわれたおもちゃ、いっしょになおそう。めざせ！未来のエジソン」
助成事業の種類	SDGs推進活動助成 地球分野
事業の目的	
おもちゃビジネスにかかわる業界52社によるビジネスショーでは今年も新たなおもちゃが開発され発売の段となっている。これらの多くはIT技術が用いられ、子どもたちの目を引くよう考えられている。おもちゃもさまざまな技術が詰まったものづくりの成果であるが、壊れたら捨ててしまうというライフスタイルが一般的である。くまがやおもちゃ病院での2,600件を超える修理対応事例から、家庭で修理ができるものも見受けられるが、壊れたものは捨ててしまい、修理する機会がだんだんと少なくなっている。子どもたちに「修理」の体験を与え、また、これを親子で一緒に考え、達成するという機会を通じて、子どもたちが基本的な工具類の使い方を学び、おもちゃのしくみを理解して、家庭でものを修理するという志向を醸成することにより、STEM教育(科学、技術、工学、数学)の実践やものを大切にすることを目的とする。	
事業で取り組んだ地域や社会の課題	
壊れたものは廃棄してしまうという考え方が一般的な中で、ものづくり、修理について学び、家庭で実践することができれば、それまで、捨てられていたものがさらに使用されることになる。これが廃棄物の減少につながり、また、壊れたものは治せるという志向を醸成することになる。(廃棄物問題への取組) また、子どもたちに「修理」の体験を与え、また、これを親子で一緒に考え、達成するという機会を通じて、子どもたちが基本的な工具類の使い方を学び、おもちゃのしくみを理解して、家庭でものを修理するという志向を醸成することにより、STEM教育(科学、技術、工学、数学)の実践につなげる。 また、大量消費社会の中で、ものを大切にすることを育むことも重要と考える。	
取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	
参加者(親子)が専門的な工具を用いて、壊れているおもちゃを分解し、仕組みを捉え故障箇所を見つけ修理するという作業を通して、親子で考え、成果を得る体験と学習を目的としたおもちゃ修理教室「こわれたおもちゃ、いっしょになおそう。めざせ！未来のエジソン」を、8月2日(土)【午前9時30分～12時】に、熊谷駅近くのハートピア会議室で開催した。 定員を親子16組と設定し、当日は15組(1組は体調不良により欠席)の参加を得た。 当日は、10名の法人スタッフが、おもちゃ修理の指導や会場の設営などを行った。	
事業実施により達成した成果の具体的な内容	
モノのつくりやしぐみを理解し、壊れているおもちゃを自分で分解・修理することを通じて、下記の成果を得た。 1)モノを大切に、地球環境保全への理解を深める → SDGs 2)親子で一緒に学び、作業等を行う → 家族の一体感を醸成 3)工具類を準備し、正しい使い方を学ぶことで、家庭で修理可能なことを実践/実感 4)身近なモノの修理を通して、STEM教育を楽しく体験学習し、「科学する心」を育む機会を提供 【参加者の満足度】---全参加者15組のアンケートより、下記のように高い満足度であった。 「5段階評価」非常に良い:13 良い:2 普通:0 あまり良くない:0 良くない:0	

費用面での工夫
消耗品については、海外の通販サイトの活用などにより、低廉な価格での購入に努めた。
会場についても、熊谷市内に本拠のある法人は、使用料の割引が受けられる会議室を選定した。
参加者へのアンケート結果でも、参加費用については、「安い」6組、「妥当」9組との回答が得られ、「高い」という回答はゼロであった。
地域社会への還元
モノのつくりやしぐみを理解し、壊れているおもちゃを自分で分解・修理することを通じて、学校の授業では行われなような体験ができる教室を開催できた。
実施については、熊谷市内全戸配布の民間情報誌「NAOZANE」でも告知の広報を行っており、実施結果についても、熊谷市社会福祉協議会のHPに、参加者の声を含めたレポートが掲載されている。
今後どのように事業を継続し発展させるか
イベント実施のノウハウを今年度もさらに学ぶことができたので、それを活かして、継続的に子どもたちへのSTEM教育に関する教室等を開催していくことを考えている。一例として、PC用の光学マウスなど身近なものを分解して構造や働きを明らかにすることなども検討していきたい。
また、これまで取り組んできたエネルギー問題や廃棄物問題以外の地球環境問題について取り上げることも検討していく。
「NPO法人子育てネットくまがや」、(社福)熊谷市社会福祉協議会ボランティアセンターなど、他の団体とのさらなる連携も考えていきたい。

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人くまがやおもちゃ病院

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	297,000	297,000	0	
自己資金	971	8,235	7,264	
活動実施による収入等	8,000	7,500	△ 500	
その他		0	0	
収入の部 合計	305,971	312,735	6,764	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費	6,100	6,100	0	
通信運搬費		0	0	
旅費交通費		0	0	
消耗品費	297,499	305,820	8,321	
備品費		0	0	
委託費		0	0	
謝金		0	0	
人件費		0	0	
その他	2,372	815	△ 1,557	
支出の部 合計	305,971	312,735	6,764	